

目 次

〈 繊維情報 〉

・2006年9月の繊維品輸出概況(繊維品全体・原料・織編物・主要二次製品).....	1
・2006年8月の繊維品輸入概況(繊維製品計・糸類・織物類・衣類).....	7
・アジア 中 国 2006年1～8月の繊維品貿易・輸出入とも高い伸び.....	10
インドネシア 2006年1～6月の繊維品貿易・輸出は好調、輸入は低調な推移.....	14
タ イ 2006年1～9月の繊維品貿易・輸出は増加、輸入は微増推移.....	17
・米 州 米 国 2006年8月の繊維品輸入、東アジア諸国主導で増加.....	20
2006年9月の大手小売店販売、引続き堅調.....	23

〈 組合関係の会議と催事 〉

・(2006年10月)(2006年11月のスケジュール).....	26
-----------------------------------	----

〈 お知らせ 〉

・繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」(輸出).....	28
・引受方針変更及び国別引受条件の緩和(輸出).....	29
・北朝鮮に係る包括保険の対応措置(輸出).....	30
・イラン・SADERAT銀行に関する貿易保険の諸手続き(輸出).....	31
・12月の輸入通関手続相談窓口開設日(輸入).....	36



◎ 2006年9月の繊維品輸出概況

I. 繊維品全体の輸出

－前年同月比2%増の6億6,341万ドルと2ヶ月連続で微増推移－

2006年9月の繊維品輸出は、ドルベースで、前年同月比2%増の6億6,341万ドル（1-9月前年同期比：1%減）で、2ヶ月連続で微増推移となった。

なお、為替が2005年9月の111.06円に対し、2006年9月は117.01円と約5%強の円安推移となっていることから、円ベースでは7%増（同6%増）の776億2,500万円と、今年に入り、2月以降連続して増加推移が続いている。（出所：財務省統計）

<主要地域・国別輸出>

8月の輸出を主要地域別に見ると、全輸出の76%を占め、わが国の輸出動向を左右する最大市場の東アジア向けは前年同月比1%減（同3%減）の4億8,674万ドルと微減推移となったが、欧米、西アジアが健闘し、東アジアの減少をカバーした。

東アジアの主要国向けでは、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシアは増勢で推移したが、最大市場の中国が微減に転じ、その他韓国、台湾、ベトナムが減少推移となった。

純輸出市場向けは、シェア4%の西アジアは、サウジアラビアが大きく後退したが、アラブ首長国、イランが共に好調を維持し、全体として15%増（同22%増）の2,990万ドルと依然増勢を維持している。

欧米市場も揃って先月に続き好調な推移となり、シェア8%のEUは、織物類は横ばいに止まったが、原料類（綿・糸）、不織布が好調で、18%増（同横ばい）の6,512万ドルと大幅に増加した。一方、同じくシェア8%の米国も、織物類は横ばい推移となったが、原料類（綿・糸）、ニット生地が増加し、9%増（同6%増）の5,227万ドルと好調に推移した。

<主要品目別輸出>

これを主要商品別にみると、まず綿類の輸出は、全体としては、数量で5%減（同2%減）、金額で6%増（同3%増）と数量減の金額増となった。

太宗の合繊綿は、数量で6%減（同横ばい）、但し金額では5%増（同4%増）となった。

この内、主力のアクリル綿は、イラン、インドネシア、米国が好調に推移したものの、最大市場の中国、タイが大幅に減少し、数量で7%減（同横ばい）となった。但し単価の上昇により、金額は4%増（同4%増）となった。

一方、ポリエステル綿は、米国が減少したが、中国、タイ、EUが好調に推移し、数量で2%増（同3%増）、金額で7%増（同2%増）となった。

その他の合繊綿では、ビニロン綿は、主力のEU向けが低調に推移し、数量で17%減（同6%

減)、金額で 17%減 (同 8%減) と数量、金額共に減少した。

スフ綿は、最大市場の中国、韓国、台湾は不振に推移したが、EU が激増し、数量で 10%増 (同 3%減)、金額で 13%増 (同 4%増) となった。

糸類の輸出は、数量で横ばい (同 1%増)、金額で 4%増 (同横ばい) となった。

主力の合繊長繊維糸は、数量で 4%増 (同 2%増)、金額で 6%増 (同 1%増) となった。

その内訳は、ポリエステル長繊維糸は、中国、タイは健闘したが、台湾、香港、米国、EU が減少し、数量で 4%減 (同 4%減) となった。但し、金額では単価のアップにより、7%増 (同 4%減) となった。一方、ナイロン長繊維糸は、タイ、台湾、EU は減少したが、中国、フィリピン、米国が健闘し、数量で 12%増 (同 1%増)、金額で 9%増 (同 1%増) と数量、金額共に好調な推移となった。その他の合繊長繊維糸では、ポリウレタン糸は、中国、EU は増加したが、香港、台湾、韓国が大幅に減少し、数量で 23%減 (同 10%減)、金額で 9%減 (同 18%減) と低調な推移となった。

また、人絹糸は、中国が減少したが、韓国、EU が健闘し、数量で 1%増 (同 5%減)、金額 12%増 (同 3%増) となった。

太宗の**織物類**の輸出は、数量で 2%減 (同横ばい)、金額で 3%減 (同 6%減) と、数量、金額共に微減推移となった。

織物の内訳では、中心品目のポリエステル長繊維織物は、数量で 2%減 (同 1%減)、金額で 6%減 (同 5%減) となった。

地域的には、全体の 73%を占める東アジア向けは、韓国、ベトナム、タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシアが健闘したが、香港が横ばい、最大市場の中国、台湾、シンガポール、スリランカが減少し、東アジア全体としては 1%減 (同横ばい) となった。

一方、純輸出市場向けは、西アジアは、サウジアラビアは不振となったが、アラブ首長国が大きく増加し、西アジア全体として 18%増 (同 6%増) となった。

欧米市場向けは、EU は 18%減 (同 14%増)、米国は 7%減 (同 18%減) と揃って不振推移となった。

ナイロン織物は、数量で 27%増 (同 25%増)、金額で 23%増 (同 25%増) と大幅な増加が続いている。

シェア 85%の東アジア向けは、主力の中国、香港が大きく伸び、全体として 27%増 (同 33%増) と大幅な増加を記録した。その他では、シェア 6%の米国が 7%増 (同 26%減) となった。

綿織物は、数量で 6%減 (同 3%減)、金額で 2%減 (同 8%減) と、数量、金額共に減少推移となった。

83%のシェアを占める東アジア向けは、香港、タイ、韓国が健闘したが、最大市場の中国を始め、ベトナム、マレーシア、インドネシアが後退し、東アジア全体として 12%減 (同 2%減) となった。その他の市場では、シェア 11%の米国は 23%増 (同 3%減) と先月に続き好調な推移となった。

織維品輸出実績(2006年9月)

単位	2006年9月				2006年1月～9月				2005年実績			
	数量	金額		前年同月比 数量 ドル	数量	金額		前年同期比 数量 円 ドル	数量	金額		金額 千ドル
		百万円	千ドル			百万円	千ドル			百万円	千ドル	
織維品総合計		77,625	663,406	102		689,291	5,952,821	106	99		890,100	8,070,165
原料(綿)合計	34,391	10,430	89,138	95	310,880	88,820	766,651	98	111	416,305	107,778	978,717
スフ綿	5,531	2,244	19,181	110	45,637	18,827	162,541	97	111	63,446	23,495	212,920
合繊綿	26,730	7,993	68,313	94	242,551	68,298	589,487	100	112	316,728	81,370	739,213
(ポリエステル)	4,107	775	6,621	102	35,655	6,506	56,155	103	109	45,356	7,900	71,868
(アクリル)	20,417	5,876	50,222	93	185,151	49,539	427,586	100	112	242,939	59,092	536,513
糸 合計	11,537	8,911	76,155	100	100,569	76,296	658,925	101	108	132,208	95,133	964,266
人絹糸	1,112	973	8,314	101	9,088	7,638	65,981	95	110	12,825	9,694	87,856
スフ糸	8	11	94	43	225	277	2,403	100	88	306	430	3,918
合繊長糸	9,762	7,002	59,844	104	83,240	59,314	512,144	102	108	107,118	72,886	662,944
(ナイロン)	2,021	1,517	12,966	112	18,189	13,597	117,389	101	109	23,971	16,878	153,473
(ポリエステル)	3,437	1,711	14,626	96	29,464	13,866	119,709	96	103	39,619	17,695	161,032
合繊短糸	233	252	2,153	67	3,056	2,719	23,512	92	103	97	3,565	32,329
綿 糸	261	228	1,944	54	3,482	2,611	22,559	92	94	5,540	4,213	38,008
織物合計	92,010	28,088	240,045	98	888,654	263,505	2,276,005	100	101	1,270,260	359,644	3,257,973
絹織物	576	964	8,238	88	5,806	9,634	83,162	97	90	8,261	13,387	121,576
人絹織物	7,206	2,246	19,198	88	54,401	19,228	165,998	89	104	81,049	25,408	230,287
スフ織物	525	215	1,839	53	6,927	2,972	25,681	75	81	12,434	5,172	46,859
合繊長織物	45,769	9,756	83,376	101	428,044	92,762	801,677	102	104	569,210	121,637	1,100,944
(ナイロン)	6,066	1,288	11,004	127	53,597	11,429	98,832	125	133	58,693	11,881	107,382
(ポリエステル)	35,598	7,170	61,273	98	329,690	68,236	589,792	99	102	447,797	91,064	824,217
合繊短織物	12,392	2,878	24,593	103	97	128,088	29,703	256,545	103	96	166,976	358,090
綿織物	19,411	7,056	60,299	94	226,357	79,349	684,956	97	99	324,399	112,859	1,023,683
毛織物	6,015	4,877	41,680	96	36,108	27,655	239,090	92	98	54,172	38,815	350,009
不織布	52,175	5,726	48,940	96	449,560	46,129	398,225	105	114	592,985	55,758	505,607
タイヤコード織物	1,674	276	2,359	151	12,555	2,080	17,961	102	101	15,300	2,565	23,416
コーテッド織物	1,385	3,563	30,449	107	13,434	34,250	296,168	99	106	17,585	42,650	387,386
ニット生地		5,548	47,419	107		53,362	461,097		113	105	66,435	600,666
アパレル		4,068	34,766	95		30,731	264,940		101	94	40,709	370,175
その他		11,015	94,137	103		94,117	812,848		108	101	119,428	1,081,958

(注) 1. 織維品総合計は、HS関税分類11部の合計。 2. 原料(綿)、糸、織物合計は分類番号50類から55類までのそれぞれの合計。

3. アパレルは61類(ニット製衣類)と62類(布帛製衣類)を合算したもの。 4. その他は、63類及び56類～59類の一部商品。

ポリエステル短繊維織物は、数量で4%増（同7%増）、金額で2%減（同3%減）と数量増の金額減となった。

全体の61%を占める東アジア向けは、最大市場の中国を始め、シンガポール、インドネシアが好調で、香港、ベトナムは減少したが、東アジア全体として14%増（同1%増）となった。一方、シェア38%の民族衣装用の西アジアは、アラブ首長国が依然好調を維持しているが、サウジアラビア、クエートが大幅に減少し、西アジア全体として12%減（同18%増）と減少に転じた。

人絹織物は、数量で12%減（同11%減）、金額で5%減（同3%減）と数量、金額共に減少推移となった。

シェア73%の東アジアは、中国、香港の2大市場が揃って不振推移となり、東アジア全体として13%減（同11%減）となった。シェア14%の西アジアは、アラブ首長国は好調に推移したが、サウジアラビアが大きく後退し、全体として6%減（同11%増）となった。一方、欧米市場は、米国は33%増（同15%減）と大幅増となったが、EUは8%減（同16%減）となった。

毛織物は、数量で4%減（同8%減）、金額で4%減（同8%減）と数量、金額共に低調な推移となった。

地域的には、東アジアが97%とほぼ全量を占めている。中国、ベトナム、タイは増加したが、香港、台湾、韓国が減少し、東アジア全体として6%減（同8%減）となった。

不織布の輸出は、数量で4%減（同5%増）、金額で17%増（同6%増）と数量減の金額増となった。

全体の54%を占める東アジアは、韓国、台湾、タイが減少したが、最大市場の中国を始め香港、インドネシアが好調に推移し、全体として6%増（同8%減）となった。

欧米市場は、シェア36%の米国は23%減（同36%増）と、このところの好調から一転し大幅な減少推移となった。一方、シェア6%のEUは20%増（同横ばい）と好調に推移した。

コーテッド織物の輸出は、数量で7%増（同1%減）、金額で6%増（同1%減）と数量、金額共に好調な推移となった。

全体の82%を占める東アジアは、香港、ベトナムは減少したが、最大輸出先の中国及びタイ、台湾が好調に推移し、全体として6%増（同1%増）となった。

欧米市場は、シェア5%のEUは34%減（同8%増）と大幅に減少したが、同じくシェア5%の米国は40%増（同30%減）と久々に大幅な増加となった。

ニット生地の輸出は、数量で7%増（同5%増）、金額で7%増（同5%増）と数量、金額共に増加推移となった。

全体の約9割強を占める東アジア向けは、主要国では、最大市場の中国、香港、韓国、台湾が好調な推移となった。一方、ベトナム、タイ、インドネシアは減少推移となった。

欧米市場向けは、米国は大幅な増加基調を持続しているが、EUは低調な推移となった。

アパレルの輸出は、金額で5%減（同6%減）となった。

内容的には、布帛製衣類では、外衣類は、香港、中国が増加したが、米国、台湾、韓国が不振で、金額で8%減（同横ばい）となった。下着類は、韓国、EUが健闘したが、台湾、中国、香港が減少し、金額で4%減（同2%増）となった。

一方、ニット製衣類では、外衣類は、中国、韓国、EUが減少したが、香港、台湾が好調で、金額で6%増（同1%増）となった。また、下着類は、台湾、香港、韓国が共に振るわず、金額で14%減（同20%減）となった。

その他二次製品は、金額で3%増（同1%増）の微増となった。

II. 原料（綿・糸）の輸出

<綿輸出>

合繊綿、スフ綿などの綿合計は、ポリエステル綿、スフ綿が増加推移となったが、ビニロン綿及び主力のアクリル綿が減少推移となり、全体では5%減の34,391トン、金額については6%増の8,914万ドルとなった。

2006年9月の原料（綿・糸）の輸出状況

単位：トン、千ドル、セント、%

	2006年9月				2006年1～9月			
	数量	前年 同月比	金額	単価	数量	前年 同期比	金額	単価
スフ綿	5,531	110	19,181	347	45,637	97	162,541	356
合繊綿	26,730	94	68,313	256	242,551	100	589,487	243
ポリエステル	4,107	102	6,621	161	35,655	103	56,155	157
アクリル	20,417	93	50,222	246	185,151	100	427,586	231
その他合繊綿	2,205	92	11,470	520	21,744	98	105,746	486
人絹糸	1,112	101	8,314	748	9,088	95	65,981	726
合繊長糸	9,762	104	59,844	613	83,240	102	512,144	615
ナイロン	2,021	112	12,966	641	18,189	101	117,389	645
ポリエステル	3,437	96	14,626	426	29,464	96	119,709	406
その他合長糸	4,303	107	32,253	750	35,588	108	275,047	773
綿糸	261	54	1,944	746	3,482	92	22,559	648

<糸輸出>

糸は、合繊短繊維糸、綿糸が2桁の減少、人絹糸が微増、主力の合繊長繊維糸が増加推移となり、全体では横這いの11,537トン、金額については4%増の7,616万ドルとなった。

Ⅲ. 織・編物（絹・化合織・綿・毛）の輸出

9月の織物（絹・化合織・綿・毛）の輸出は、ナイロン織物が好調な伸びを記録し、ポリエステル短繊維織物も量的には増加したが、ポリエステル長繊維織物、綿織物、人絹織物、毛織物が伸び悩み、織物トータルとしては、数量で前年同月比2%減（1-9月：前年同期比横ばい）、金額で3%減（同6%減）と数量、金額共に微減推移となった。

なお、この織物トータルの中に含まれていない、ニット生地、コーテッド織物は、数量、金額共に各々堅調な推移となった。

2006年9月の織・編物（絹・化合織・綿・毛）の輸出状況

単位：1000SM、1000\$、前年比は数量比%

	2006年9月			2006年1-9月		
	数量	金額	前年同月比	数量	金額	前年同期比
絹織物	576	8,238	88	5,806	83,162	97
人絹織物	7,206	19,198	88	54,401	165,998	89
スフ織物	525	1,839	53	6,927	25,681	75
合織（長）織物	45,769	83,376	101	428,044	801,677	102
ポリ（長）織物	35,598	61,273	98	329,690	589,792	99
ナイロン織物	6,066	11,004	127	53,597	98,832	125
合織（短）織物	12,392	24,593	103	128,088	256,545	105
ポリ（短）織物	11,377	22,694	104	119,790	239,675	107
綿織物	19,411	60,299	94	226,357	684,956	97
毛織物	6,015	41,680	96	36,108	239,090	92
コーテッド織物	1,385	30,449	107	13,434	296,168	99
ニット生地	14,252	47,419	107	137,046	461,097	105

(注) 1. ポリエステル（長）、ナイロン（長）織物は、ポリエステル、ナイロンの重量が全体の85%以上の織物。

2. コーテッド織物の数量単位はトン。

市場的には、織物トータルでは、主力の東アジアは、主要国では、香港、インドネシア、マレーシアが数量、金額共に前年同月を上回り健闘した。一方、最大市場の中国を始め、

ベトナム、台湾、タイは数量、金額共に前年を下回った。また、韓国は数量増の金額減、シンガポールは数量増の金額横ばいとなった。

純輸出市場では、これまで好調を持続してきた西アジアは、アラブ首長国が数量、金額共に前年同月を上回ったが、サウジアラビアは数量、金額共に前月に続き前年同月を下回った。

欧米市場は、EUは主力のポリエステル長繊維織物の不振をナイロン織物の増加でカバーし、数量微増の金額横ばい、また米国はポリエステル長繊維織物が低迷しているが、綿織物、ナイロン織物が好調で、EUと同様に数量微増の金額横ばいとなった。

IV. 主要繊維二次製品の輸出

繊維二次製品の2006年9月の輸出は、金額（ドル）ベース（以下同じ）で、アパレルは、ニット製外衣が増加したが、布帛製外衣・下着、ニット製下着がいずれも不振に推移し、全体では前年同月比5%減の34,766千ドルとなった。他方、その他の品目については、敷物、細幅織物・紐類が減少推移、漁網・その他の網・網地が増加推移となった。

2006年9月の主要繊維二次製品輸出状況

単位：千ドル、金額：前年比%

	2006年9月		2006年1～9月	
	金額	前年同月比	金額	前年同期比
布帛製衣類・付属品	17,969	96	151,911	98
外衣	10,890	92	92,314	100
下着	3,800	96	33,949	102
スカーフ・マフラー	846	108	5,701	97
ニット製衣類・付属品	16,797	95	113,029	89
外衣	8,255	106	40,625	101
下着	5,350	86	47,281	80
敷物	2,415	79	21,408	89
漁網・網・網地	4,456	176	34,484	121
細幅織物・紐類	13,735	93	132,726	95

◎ 2006年8月の繊維品輸入概況

1. 繊維製品計

8月の輸入は、金額が円ベースで前年同期比105.4%（前月比は128.3%）、ドルベース同100.7%（前月比は128.1%）、数量(重量)同100.7%（前月比は121.7%）と、円金額が13ヶ月連続で増加、ドル金額は微増ながら6ヶ月連続増加、数量も微増ではあるが2ヶ月

連続で増加した。前月比は、秋冬物の入荷時期を迎え金額、数量ともに大きく増加した。

糸類は数量で前年同期比 3.7%増と 14 ヶ月ぶりに増加した前月に引き続き増加。内訳は、毛糸、綿糸、人織(短)糸、その他の糸が増加、絹糸、人織(長)糸が減少した。織物類は同 0.3%増とほぼ横這いながら 2 ヶ月連続で増加した。人織(長)織物、人織(短)織物、その他の織物が増加、絹織物、毛織物、綿織物、黄麻織物、メリヤス生地が減少した。衣類は同 2.2%の減少となり 2 ヶ月ぶりに減少した。衣類を除くインテリア用品等の二次製品は同 5.4%増で 6 ヶ月続けて増加した。

前月は前年同期比で円金額が 10.4%、ドル金額が 6.8%、数量も 5.6%と数量、金額揃って増加となったが、今月は円金額が 5.4%増加したが、ドル金額が 0.7%、数量も 0.7%の微増でほぼ横這いとなった。なお、8月の為替相場は前年同月比 4.7%円安の 115 円 88 銭であった。ドル金額の内訳を見ると、糸類が 11.4%の大幅増、織物類は 1.7%増、太宗を占める衣類は 0.5%減、二次製品は 6.7%増加し、繊維製品計では 0.7%の微増となった。

2. うち糸類

- ▶ 綿糸の輸入実績は、トンベースで前月比 28.0%、前年同月比も 14.3%増となるなど今年 1 月以来の三万梱台回復となった。これは、7 月以降の我が国の綿糸相場回復、更には 10~11 月の国内紡績工場の閉鎖、縮小等再編によるものと思われる。綿糸輸入の 87%を占める純綿糸の輸入を前月に比較すると、国別では、首位のパキスタンが 65.7%、2位のインドネシア 35.0%、3位のインド 5.6%、4位の中国も 14.2%と上位軒並みプラスとなった。番手別では、20 番手中心がパキスタンの大幅増もあり 60.3%増、30 番手中心 24.7%、40 番手中心 40.0%、40 番手以上も 6.2%それぞれ増加となった。糸種別にみてもカード糸が 49.1%、コマ糸 21.7%の増加となった。なお、混紡綿糸は前月並に留まった。
- ▶ 毛糸の輸入実績は前年同月比重量ベース 27.7%増と 4 ヶ月連続の増加となり、3 ヶ月続けて 20%を超える大幅増となった。糸種別に見ると、紡毛糸が同 68.3%増と引き続き大幅に増加し 8 ヶ月連続で増加、太宗を占める梳毛糸も同 24.8%増となった。国別では、トップシェアの中国が同 29.7%増と 5 ヶ月連続で増加、第 2 位のマレーシアも同 13.5%増加した。この他の主要国では台湾、インド、ペルーが増加、タイ、イタリアからの輸入は減少した。
- ▶ 人織糸の輸入実績は、トンベースで人織(長)糸が前月比 9.8%、前年同月比も 4.9%のマイナスとなり、このところの輸入は月によりプラス、マイナスの入れ替わりが続いている。主要商品を前月に比較すると、量的に少ない人絹糸は前月並となったものの主力商品のポリエステル糸が 13.7%、ナイロン糸も 2,000 トン台は堅持したものの 8.4%の減少となった。一方、人織(短)糸はスフ糸が 6.9%減となったものの、主力商品の T/C,T/R のポリエステル紡績糸が 2.2%増、在庫整理が進んだマイヤー毛布用のアクリル紡績糸も 28.1%の

大幅増となるなど全体を牽引し、前月比が4ヵ月連続プラスの5.5%、前年同月比も6.1%増となった。

3. うち織物類

- ▶ 綿織物の輸入実績は、面積ベースで前月比1.0%の微減に留まったものの、前年同月比は11.4%と2桁の減少となった。これは、我が国染工場の廃業や縮小と中国の人件費の上昇、増値税還付率の引き下げ等によるオファー価額の高止まりによるものと思われる。国別で前月に比較すると、首位で全体の75%を占める主力の中国は4.0%の減となったものの、2位のインドネシアは横這い、3位のパキスタンは81.6%の大幅増加となった。品種別にみると、ポプリンの8.5%減をはじめ金巾1.5%、粗布・細布14.7%の3大商品は軒並み前月を下回った。
- ▶ 毛織物の輸入実績は、面積ベースで前年同月比10.6%減少し、3ヶ月ぶりの減少となった。中国からの輸入が同21.2%減と2ヶ月続けて減少し全体を押し下げたが、イタリアからの輸入は4.7%増とユーロ高の中でも増加し前月に引き続き増加となった。また、第3位のイギリスからも同14.6%増と2ヶ月連続で増加した。品種別では、紡毛織物が同7.3%増と2ヶ月ぶりに増加、主力の梳毛織物は同13.5%減と3ヶ月ぶりに減少した。
- ▶ 人織織物の輸入実績は、面積ベースで人織(長)織物が前月比、前年同月比ともほぼ横這いとなった。品目別に前月に比較すると主力商品のポリエステル織物がマイナス5.2%となったもののナイロン織物が1.7%、ポリプロピレン等その他の織物は12.6%のプラスとなった。国別にみると首位の中国が7.8%減、インドネシア、ベトナム等その他の国も12.8%のマイナスとなったが、2位の韓国、3位の台湾はそれぞれ23.0%、24.4%のプラスとなった。一方、人織(短)織物は主力のT/C,T/Rのポリエステル織物が2ヵ月連続プラスの12.0%増となったものの、インドネシアからのふすま、ガムテープ用のスフ織物が30.1%の減少となったことにより、前月比は15.7%の減少となったが、前年同月比は2.6%と僅かであるがプラスとなった。

4. うち衣類

ニット製衣類が対前年同月比(枚数)で1.7%減、布帛製衣類も同0.7%減、身の廻り品も重量ベース4.2%減となり、衣類計で重量ベース2.2%減少となった。ニット製衣類は2ヶ月ぶりに減少し、布帛製衣類、身の廻り品はともに2月に中国の旧正月の影響で減少して以来6ヶ月ぶりの減少、衣類計は2ヶ月ぶりに減少した。

主要国別に見ると

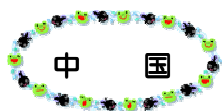
- ▶ 中国は対前年同月比(枚数)でニット製衣類が1.1%減少し2ヶ月ぶりの減少、布帛製衣類も1.3%減少し6ヶ月ぶりの減少、身の廻り品も重量ベース5.4%減で6ヶ月ぶりの減少となった。今年1~8月の衣類計(重量)のシェアは0.2ポイント上昇し90.8%

(金額ベースでのシェアは同じく 0.2 ポイント上昇し 81.6%)。

- ▶ 韓国はニット製衣類が同 17.9%減少、布帛製衣類も同 21.1%減となり、ニット製衣類、布帛製衣類ともに 4 ヶ月連続で減少した。
- ▶ イタリアはニット製衣類が同 18.6%減と 2 ヶ月連続で減少、布帛製衣類も同 9.8%減とこちらも 2 ヶ月連続で減少となった。
- ▶ ベトナムはニット製衣類が同 11.0%減と 3 ヶ月連続で減少、布帛製衣類は同 19.7%増となり 2 ヶ月続けて増加した。
- ▶ 商品別には、ニット製衣類ではズボン、ドレス、スカートが増加、コート、スーツ、アンサンブル、ジャケット、アウターシャツ、セーター、下着類が減少、スポーツウェアはほぼ横這いとなった。中でも、ドレスは対前年同月比(枚数)で 2 倍超の 208.8%と前月に引き続き大幅増となった。布帛製外衣類では紳士用が同 1.1%増、婦人用は同 1.9%減少した。紳士用では、コート、下着類が増加、スーツ、アンサンブル、ジャケットが減少、婦人用は、コート、ドレス、ズボンが増加、スーツ、アンサンブル、ジャケット、スカート、ブラウス、下着類が減少となった。

前月は数量が 5.6%増加、金額も円ベースで 10.4%、ドルでも 6.8%増加となったが、今月は数量が 0.7%、金額も円ベースで 5.4%、ドルも 0.7%とそれぞれ増加したものの数量、ドル金額はほぼ横這いとなり、円安により増加した円金額を除けば、秋冬物の入荷は前年並みのスタートとなった。

戦後最長の景気回復の中にあって盛り上がりを欠く個人消費だが、一部関係者から「最近、消費者が衣料品にお金を使わなくなった」との声を聞く。これを裏付けるように、総務省の家計調査で総支出と被服履物支出を四半期ベースで比べると、2004 年以降で被服履物支出が総支出を上回ったのは昨夏のクールビズ効果と昨冬の厳冬での防寒需要の 2 回だけとなっている。今後も人口減少社会のなかで、国内繊維ビジネスには厳しい環境が続く。



中 国

◎ 2006 年 1～8 月の繊維品貿易・輸出入とも高い伸び

【輸 出】

—26%増の 874 億 5,841 万ドルと依然高い伸びを維持—

主要市場の欧米向けに規制枠が再び設定され、その動向が注目される 2006 年の中国の繊維品輸出であるが、1～8 月の輸出は前年同期比 26%増と依然高率の伸びを維持している。

単月での伸びを見ると、1月の 24%増、2月 4%増、3月 36%増、4月 27%増、5月 31%増、

6月25%増、7月23%増、8月33%増と、2月に一度伸び率は鈍化したが、8月は3月に次ぐ大きな伸びを記録しており、依然な増勢が続いている。

<地域別輸出状況>

地域別では、東アジアがシェア40%（前年同期比21%増）、ヨーロッパが同27%（同43%増）、北米が同15%（同11%増）、西アジアが同6%（同30%増）、中米が同3%（同56%増）、南米が同2%（同49%増）、アフリカが同5%（同30%増）、大洋州が同2%（同11%増）の市場構成となっており、各地域共に軒並み2桁の増勢推移となっている。

国別では、1位EU（135億979万ドル：10%増）、続いて米国（115億302万ドル：6%増）、日本（114億4,971万ドル：8%増）、香港（114億591万ドル：25%増）、ルーマニア（34億3,388万ドル：719%増）、韓国（32億5,208万ドル：35%増）、ロシア（26億6,372万ドル：20%増）、カナダ（20億400万ドル：53%増）、アラブ首長国（17億15万ドル：18%増）、オーストラリア（15億2,513万ドル：11%増）、トルコ（13億9,794万ドル：244%増）、シンガポール（13億5,085万ドル：45%増）の順で、この12大市場で輸出全体の75%のシェアを占めている。

去年は枠が撤廃されたEU、米国向けが衣料品を中心に、特に突出した伸びとなったが、今年はEU、米国向けに枠が再設定されたこともあり、両国への伸びは大幅に鈍化している。代わって、韓国、香港、シンガポール等の東アジア諸国、ロシア、ルーマニア、カザフスタン等の旧東欧諸国、トルコ、カナダ、中南米諸国等が大きく伸び、EU、米国向けの伸びの鈍化をカバーしているのが、特徴的な傾向である。

<品目別輸出状況>

品目別では、中国の繊維品輸出全体の63%を占める最大輸出品目の衣料品及び同付属品は、米国、EU向けの伸びが枠の再設定により去年に比べ大幅に減速しているにも拘らず、東アジア諸国、旧東欧諸国、カナダ等その他の諸国が大幅に伸び、31%増の554億5,706万ドルと大幅な伸びを記録しているのが目立っている。

内容的には、ニット製の衣料品及び同付属品が42%増の275億5,199万ドルと大きく伸びており、また布帛製衣料品及び同付属品も22%増の279億508万ドルと高い伸びを維持し、中国の繊維品輸出を牽引している。

衣料品の主要輸出先は、ニット製衣料品ではトップ市場は日本（43億8,520万ドル：9%増）、続いてEU（35億1,989万ドル：3%減）、香港（30億3,859万ドル：70%増）、米国（29億2,284万ドル：7%減）、ルーマニア（24億6,653万ドル：11倍増）、ロシア（11億7,791万ドル：88%増）、韓国（9億4,925万ドル：55%増）、カナダ（6億9,207万ドル：66%増）、オーストラリア（6億3,725万ドル：6%増）、カザフスタン（6億656万ドル：112%増）の順となっている。

2006年8月の中国の繊維品輸出入状況

単位:1000ドル

	輸 入				輸 出					
	2005年実績		2006年1月～8月		2005年実績		2006年1月～8月		前年比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
繊維品合計										
原料(綿)合計	TON	23,446,081	TON	17,830,818	TON	87,453,409	TON	86,422,220	141	117
スワブ	TON	164,419	TON	467,136	TON	32,623	TON	49,608	307	262
合繊綿	TON	835,306	TON	1,381,998	TON	217,131	TON	274,742	144	137
(ポリエステル)	TON	346,184	TON	423,153	TON	188,243	TON	201,577	149	148
(アクリル)	TON	464,623	TON	878,156	TON	1,298	TON	3,514	129	172
糸合計	TON	1,660,050	TON	4,042,957	TON	1,183,764	TON	4,182,047	128	124
人絹糸	TON	26,236	TON	78,212	TON	57,772	TON	209,617	129	132
スワブ	TON	26,879	TON	89,390	TON	25,973	TON	107,532	123	122
合繊長繊維糸	TON	616,570	TON	1,543,903	TON	375,724	TON	839,434	157	147
(ナイロン)	TON	251,020	TON	662,585	TON	62,829	TON	219,324	126	127
(ポリエステル)	TON	295,494	TON	522,692	TON	267,038	TON	431,037	163	152
合繊短繊維糸	TON	149,671	TON	376,436	TON	286,006	TON	779,105	117	117
綿糸	TON	793,656	TON	1,697,154	TON	387,014	TON	1,231,032	120	129
繊維品合計	千LM	4,638,058	千LM	6,009,460	千LM	11,800,954	千LM	11,115,606	110	112
絹織物	千LM	45,693	千LM	117,096	千LM	157,242	千LM	501,283	84	109
人絹織物	千LM	82,694	千LM	122,550	千LM	26,592	千LM	22,367	110	104
スワブ織物	千LM	58,124	千LM	100,319	千LM	667,731	千LM	491,707	111	112
合繊長繊維織物	千LM	2,016,102	千LM	2,029,732	千LM	4,252,977	千LM	3,173,511	106	102
(ナイロン)	千LM	660,899	千LM	585,866	千LM	184,539	千LM	106,086	116	120
(ポリエステル)	千LM	912,650	千LM	1,028,690	千LM	3,588,224	千LM	2,615,839	106	101
合繊短繊維織物	千LM	695,082	千LM	792,728	千LM	2,531,212	千LM	1,913,908	115	129
綿織物	千LM	1,564,514	千LM	2,159,441	千LM	3,939,167	千LM	4,363,514	113	117
毛織物	千LM	70,407	千LM	535,575	千LM	69,411	千LM	380,013	99	101
不織布	TON	135,081	TON	490,543	TON	125,296	TON	288,948	121	126
タイヤコード織物	TON	18,313	TON	71,770	TON	52,175	TON	166,117	101	93
コーテッド織物	TON	264,082	TON	1,025,710	TON	378,582	TON	919,177	127	129
ニット生地	TON	460,587	TON	1,879,207	TON	3,652,257	TON	3,028,208	124	129
ニット製衣料								27,551,986		142
布帛製衣料								35,038,492		122
その他								14,841,986		120

出所:中国海関統計

米国、EU は昨年の激増もあり、減少推移となっているが、他方東アジアの香港、韓国、東欧のロシア、ルーマニア、カザフスタン、またカナダ等が激増しているのが注目される。

また、布帛製衣料品の輸出先は1位がEU (61億1,516万ドル：17%増)、日本 (50億1,840万ドル：5%増)、米国 (48億1,616万ドル：5%増)、香港 (26億268万ドル：24%増)、韓国 (9億6,665万ドル：40%増)、カナダ (9億3,935万ドル：62%増)、ロシア (9億1,502万ドル：10%減)、ルーマニア (8億9,587万ドル：587%増)、オーストラリア (5億1,840万ドル：10%増)、シンガポール (4億4,971万ドル：116%増) の順で、ここでも、米国、EU の減速伸び悩み、一方、韓国、香港、シンガポール、カナダ、ルーマニア向けの増加が目立っている。

織物類の輸出は、太宗の綿織物、合繊短繊維織物が好調に推移、ポリエステル長繊維織物も堅調で、全体として数量で10%増の118億メートル、金額で12%増の111億1,560万ドルと数量、金額共に順調に推移している。

糸類の輸出も各品目共に好調で、合繊長繊維糸、特にポリエステル長繊維糸の増加が著しく、また太宗の綿糸、合繊短繊維糸も大幅に増加しており、全体として数量で28%増の118万3,764トン、金額で24%増の41億8,205万ドルと、数量、金額共に好調な推移となっている。

綿類の輸出も、ポリエステル綿を中心とする合繊綿、またスフ綿の輸出が何れも大きく伸び、数量で41%増の32万1,398トン、金額で17%増の8億6,422万ドルと規模は未だ小さいが、高い伸びを記録している。

【輸 入】

—綿花の激増により17%増の178億3,082万ドルと高い伸び率を記録—

繊維品輸入は、織物類の輸入は減少しているが、原料類で国内の綿花不足から特に米国からの綿花の輸入が激増していることもあり、全体として17%増の178億3,082万ドルと大幅な伸びとなっている。

この結果、中国の1～8月の繊維品貿易収支の黒字額は前年同期比29%増の696億2,759万ドルとなっている。

<地域別、国別輸入状況>

地域別では、東アジアがシェア66% (前年同期比：8%増) を占め、西アジアが同3% (同48%増)、ヨーロッパが同7% (同12%増)、北米が同14% (同84%増)、中米が同0.2% (同47%減)、南米が同1% (同50%増)、アフリカが同3% (同60%増)、大洋州が同5% (同10%増) の市場構成となっている。

国別では、1位米国 (25億4,295万ドル：87%増)、続いて日本 (24億672万ドル：4%減)、台湾 (22億5,748万ドル：1%増)、韓国 (18億3,600万ドル：7%減)、香港 (12億1,771万ドル：6%増)、EU (10億7,783万ドル：10%増)、オーストラリア (8億6,216万ドル：9%増)、インド (7億1,032万ドル：294%増)、パキスタン (4億8,000万ドル：29%増)、

ウズベキスタン（4億1,440万ドル：40%増）の順で、この10大市場で輸出全体の77%を占めている。

<品目別輸入状況>

品目別輸入を見ると、綿関係では、化合繊は低調な推移となっているが、天然繊維は米国、インド等よりの綿花が著増しており、全体として数量で55%増の422万1,885トン、金額で46%増の62億6,855万ドルと大幅な増加となっている。

糸関係は、太宗の綿糸が大きく増加しており、合繊長繊維糸はほぼ横ばいで推移しているが、全体として数量で9%増の120万671トン、金額も9%増の29億8,345万ドルと数量、金額共に増勢で推移している。

一方、織物類は、綿織物、合繊長繊維織物、合繊短繊維織物等各品目が総じて低調な推移となっており、トータルでは数量で6%減の28億1,688万メートル、金額で2%減の38億4,974万ドルとなっている。

その他品目では、ニット生地が金額で11%増の13億7,788万ドル、コーテッド織物が6%増の7億2,217万ドルとなっている。

また、衣料品は、額は小さいが、ニット製衣料品が19%増の4億8,714万ドル、布帛製衣料品が17%増の5億7,019万ドルと何れも高い伸びを記録している。



インドネシア

◎ 2006年1～6月の繊維品貿易・輸出は好調、
輸入は低調な推移

【輸出】

—9%増の45億5,498万ドルと好調に推移—

インドネシアの繊維産業は、人件費、燃料費の高騰など諸経費のコストアップ、設備の老朽化、中国品の密輸入の急増、更に中国品等との海外市場での競合激化等により、競争力の低下が懸念されているが、2006年1～6月の繊維品輸出は、枠が撤廃された欧米向けを中心に好調に推移し、前年同期比9%増の45億5,494万ドルとなっている。

地域別輸出をみると、シェア39%の北米は23%増、同23%の欧州は16%増、同23%の東アジアが3%減、同5%の西アジアは9%減となっており、主要地域では、東アジア及び西アジアは減少しているが、特に欧米向けの好調が目立っている。

主要輸出国は、米国（17億1,273万ドル：23%増）、EU（9億1,398万ドル：16%増）、日本（2億3,924万ドル：1%減）、アラブ首長国（1億3,455万ドル：11%減）、韓国（1億2,021万ドル：9%増）、トルコ（1億1,813万ドル：26%増）、ブラジル（9,563万ドル：51%増）、マレーシア（8,764万ドル：7%減）、シンガポール（8,227万ドル：34%減）、香港（8,176万ドル：16%減）、中国（7,425万ドル：12%増）、カナダ（6,669万ドル：19%増）の順となっている。

2006年1～6月のインドネシアの繊維品輸出入状況

単位：1000ドル

	輸 入				輸 出				
	2005年実績		2006年(1～6)		2005年実績		2006年(1～6)		前年比
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
繊維品合計									
原料(綿)合計		1,605,528		792,622		4,554,982		109	
スフ綿	598,265	801,773	284,607		192,741	244,912	108,173	128	116
合繊綿	5,269	11,240	4,752		83,434	123,953	43,885	117	107
(ポリエステル)	121,177	200,504	45,489		63,845	75,429	36,658	143	141
(アクリル)	44,703	56,541	11,413		60,993	71,197	35,162	144	141
糸合計	71,667	132,433	31,355		383	653	221	84	188
人絹糸	108,530	267,040	55,091		795,252	1,621,346	420,592	110	113
スフ糸	21,467	70,250	11,857		2,666	10,609	1,911	187	312
合繊長繊維糸	225	1,054	152		61,121	142,816	39,746	136	141
(ナイロン)	52,702	132,175	26,881		326,130	568,620	167,953	107	102
(ポリエステル)	9,995	32,169	4,988		34,590	109,724	16,807	94	91
合繊短繊維糸	36,679	72,955	18,843		287,017	441,386	148,667	108	103
綿糸	3,791	9,188	3,008		280,513	589,269	139,149	104	109
繊維品合計	25,707	48,795	10,012		123,656	305,107	71,263	117	125
絹織物	0	187,237	0		0	1,257,892	0	587,773	97
人絹織物	26	300	11		1,739	9,815	38	232	3
スフ織物		3,096				35,589		25,324	148
合繊長繊維織物		1,226				24,771		15,237	115
(ナイロン)		55,308				495,746		229,941	102
(ポリエステル)		5,207				4,130		1,431	118
合繊短繊維織物		36,198				145,985		72,519	119
綿織物		19,496				275,826		118,121	86
毛織物		101,720				411,500		197,977	98
不織布	143	2,803	102		439	3,404	10	71	2
タイヤコード織物	11,643	33,231	6,106		12,220	27,886	7,622	17,493	128
コーツド織物	15,250	62,045	5,293		21,590	88,394	11,153	45,108	96
ニット生地	9,851	18,540	7,578		4,822	23,552	2,265	10,938	104
ニット製衣料	11,711	69,825	6,187		13,532	74,540	7,320	45,020	98
布帛製衣料		23,090				1,825,908		991,249	116
その他		30,148				3,073,677		1,643,887	109
		112,598				365,992		188,969	102

出所：インドネシア通関統計

品目別輸出を見ると、最大輸出品目は衣料品で、全繊維品輸出額の 58%を占めているが、このうち、ニット製衣料品は 16%増の 9 億 9,125 万ドル、太宗の布帛製衣料品は 9%増の 16 億 4,389 万ドルで、いずれも高い伸びを示し、インドネシアの繊維品輸出を牽引している。

ニット衣料品市場のベスト 5 は、米国 (5 億 3,902 万ドル:40%増)、EU (2 億 8,716 万ドル:15%増)、アラブ首長国 (2,152 万ドル:39%減)、シンガポール (2,040 万ドル:34%減)、日本 (2,033 万ドル:3%増) の順で、特に米国、EU 向けで全体の 83%と圧倒的なシェアを占め高い伸びを記録している。

布帛製衣料品市場のベスト 5 は、米国 (10 億 3,666 万ドル:14%増)、EU (3 億 4,510 万ドル:17%増)、日本 (4,533 万ドル:1%増)、カナダ (3,756 万ドル:10%増)、アラブ首長国 (3,300 万ドル:15%減) で、ここでも米国、EU 向けで 84%と圧倒的なシェアを占め、ニット衣料品同様好調に推移している。

織物類の輸出は後退しており、全体で 3%減の 5 億 8,777 万ドルとなっている。

品種別では、主要織物では、合繊長繊維織物が 2%増の 2 億 2,994 万ドルと微増、綿織物は 2%減の 1 億 9,798 万ドルと微減、合繊短繊維織物は 14%減の 1 億 1,812 万ドルとなっている。

合繊長繊維織物市場のベスト 5 は、アラブ首長国 (5,402 万ドル:22%増)、EU (2,622 万ドル:18%減)、サウジアラビア (2,523 万ドル:6%増)、マレーシア (1,951 万ドル:27%減)、トルコ (1,382 万ドル:58%増) の順となっている。

綿織物の主要市場は EU (4,759 万ドル:20%増)、香港 (1,849 万ドル:24%減)、日本 (1,614 万ドル:11%増)、トルコ (1,503 万ドル:31%増)、米国 (1,479 万ドル:16%増) で、合繊短繊維織物の主要市場は EU (2,764 万ドル:3%減)、日本 (1,633 万ドル:1%減)、トルコ (793 万ドル:89%増)、中国 (769 万ドル:3%増) となっている。

一方、原料関係の輸出は好調で、まず、綿類は、スフ綿、合繊綿が共に大きく伸び、全体で 16%増の 1 億 3,169 万ドルとなった。

また、糸類の輸出は、合繊長繊維糸、合繊短繊維糸、綿糸が共に増勢で推移し、糸全体としては 13%増の 8 億 9,286 万ドルとなっている。

【輸 入】

—6%減の 7 億 9,262 万ドルと低調な推移—

輸入は、原料の糸類が微増となっているが、綿類、織物類の輸入が低調な推移となり、全体として 6%減の 7 億 9,262 万ドルと減少推移となっている。

地域別では、シェア 53%を占める東アジアからの輸入は 8%減の 4 億 2,375 万ドル、同 18%の北米は 17%減の 1 億 4,526 万ドル、同 8%の大洋州は 19%増の 6,675 万ドル、同 7%のアフリカは 8%増の 5,663 万ドル、同 7%の欧州は 13%増の 5,817 万ドルで、特に東アジア、北米からの輸入が大きく減少している。

国別の主要輸入先は、米国 (1 億 4,407 万ドル:15%減)、中国 (1 億 1,435 万ドル:9%増)、豪州 (6,579 万ドル:20%増)、台湾 (6,481 万ドル:21%減)、EU (5,054 万ドル:10%増)、

韓国（4,524 万ドル：27%減）、日本（4,351 万ドル：15%減）、インド（3,542 万ドル：89%増）の順となっている。

品目別としては、綿関係では、綿花等の天然繊維原料また合繊綿の輸入が減少し、綿全体として10%減の3億9,633万ドルとなった。

糸関係の輸入は、ポリエステル長繊維糸、綿糸が減少したが、人絹糸、ナイロン長繊維糸は大幅に増加し、全体で2%増の1億4,063万ドルの微増となった。

織物類の輸入は、太宗の綿織物は微減推移となっているが、合繊（長・短）織物が共に大きく減少し、全体として9%減の8,110万ドルとなった。

その他では、ニット生地は4%増の3,635万ドルと増加、一方タイヤコード織物は31%減の2,110万ドルと大幅に減少した。

衣料品の輸入は、額的に小さいが、ニット製衣料品が1%増の1,172万ドル、また布帛製衣料品は4%増の1,440万ドルと、各々微増推移となっている。



◎ 2006年1～9月の繊維品貿易・輸出は増加、輸入は微増推移

【輸出】

—4%増の52億494万ドルと若干の増加推移—

タイの通関統計によると、2006年1～9月のタイの繊維品輸出は、クオータフリー後、再び中国品の一部に欧米で枠が設定されたこともあり、その影響が注目されるが、前年同期比4%増の52億494万ドルと若干の増加推移となっている。

市場別としては、州別では、北米（シェア：32%）が1%増、東アジア（シェア：32%）が横ばい、ヨーロッパ（シェア：22%）が16%増で、この3大市場で全体の87%を占めているが、東アジア、北米の横ばいに対し、特に欧州向けの増加が目立っている。

国別では、米国、EU、日本、中国、香港、アラブ首長国、インドネシア、ベトナムの順で、この8カ国で全繊維品輸出の70%を占めている。最大市場の米国が1%増の16億1,438万ドル、EUが13%増の10億3,011万ドル、香港が4%増の1億3,787万ドル、アラブ首長国が7%増の1億3,613万ドル、ベトナムが15%増の9,645万ドル、一方日本は2%減の3億1,320万ドル、中国は11%減の1億9,184万ドル、インドネシアは11%減の1億347万ドルとなっている。その他主要輸出国は、インド（8,695万ドル：横ばい）、バングラデシュ（8,660万ドル：12%増）、マレーシア（8,524万ドル：1%減）、韓国（7,316万ドル：9%増）となっている。

これを品目別に見ると、タイの最大輸出品目で全体の繊維品輸出の52%を占める衣料品は、

ニット製衣料品は最大市場の米国、EU 向けの増加を中心に 11%増の 15 億 6,676 万ドルと 2 桁の伸びで好調な推移となっているが、布帛製衣料品は主力の米国が不振で 2%減の 11 億 5,489 万ドルと苦戦している。

織物類は、太宗の綿織物、合繊長繊維織物、合繊短繊維織物は量的に総じて伸び悩んでいるが、綿織物、合繊長繊維織物の単価が上昇したことにより、全体として数量で 2%減の 11 万 2,951 トン、金額では 2%増の 6 億 7,931 万ドルと数量微減の金額微増となった。

内訳は、最大品目の綿織物が数量で 1%減の 4 万 2,196 トン、金額で 8%増の 2 億 7,391 万ドルと数量減の金額増、合繊短繊維織物は数量で 2%減の 3 万 5,453 トン、金額で 5%減の 1 億 9,350 万ドルと数量、金額共に減少、また、合繊長繊維織物は数量で 2%減の 2 万 4,714 トン、金額 3%増の 1 億 4,528 万ドルと数量減の金額増となった。

一方、原料関係の輸出は、綿類は数量で 6%減の 27 万 2,390 トン、金額で横ばいの 3 億 5,670 万ドルとなった。中心品目の合繊綿は、ポリエステル綿が数量で 18%減の 14 万 6,023 トン、金額で 15%減の 1 億 7,402 万ドルと 2 桁の減少となっているが、アクリル綿は数量で 42%増の 5 万 6,938 トン、金額で 55%増の 1 億 812 万ドルと大幅な増加となった。

糸類の輸出は、数量で 10%減の 23 万 7,230 トン、金額で 3%減の 5 億 9,397 万ドルと数量、金額共に減少した。太宗の合繊長繊維糸は、ナイロンは増加推移となっているが、ポリエステルが大幅に減少し、数量で 16%減の 12 万 8,562 トン、金額で 8%減の 2 億 6,392 万ドルとなった。その他の糸では、綿糸が数量で 8%減の 3 万 6,683 トン、金額で 5%減の 1 億 474 万ドル、合繊短繊維糸は数量で 5%減の 4 万 2,213 トン、金額で 9%減の 1 億 1,267 万ドルとなっている。

【輸 入】

—1%増の 22 億 5,914 万ドルと微増推移—

市場別としては、州別では東アジアが 68%と圧倒的なシェアを占め 7%増、続いて欧州が同 11%を占め 10%増と何れも増加しているが、同 9%の北米が 24%減と大きく後退しているのが目立っている。

国別では、中国、台湾、EU、日本、米国、香港、オーストラリア、韓国、インドネシア、インドが 10 大輸入先で全繊維品輸入の 87%を占めている。最大輸入先の中国からの輸入は 13%増の 5 億 7,722 万ドル、続く台湾が 10%増の 2 億 4,920 万ドル、EU が 14%増の 2 億 3,017 万ドル、日本が 8%減の 2 億 957 万ドル、米国が 24%減の 1 億 9,699 万ドル、香港が 4%増の 1 億 3,467 万ドル、オーストラリアが 12%増の 1 億 3,296 万ドルの順で、日本、米国を除いて増加推移となっている。

その他主要輸入先は、韓国 (8,974 万ドル：7%減)、インドネシア (8,199 万ドル：7%増)、インド (5,961 万ドル：57%増) 等となっている。

品目別では、綿類の輸入は天然繊維原料の輸入が主体であるが、数量で 19%減の 39 万 860 トン、金額で 14%減の 5 億 5,337 万ドルと低調な推移となっている。

糸類の輸入は合繊長繊維糸主体に数量で 15%増の 8 万 5,134 トン、金額で 7%増の 3 億 2,759 万ドルと綿類とは逆に 2 桁の増加推移となっている。

2006年1～9月のタイの繊維品輸出入状況

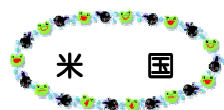
単位:1000ドル

	輸 入						輸 出											
	2005年実績			2006年(1～9)			2005年実績			2006年(1～9)			前年比					
	数量	金額	トン	数量	金額	トン	数量	金額	トン	数量	金額	数量	金額	数量				
繊維品合計																		
原料(綿)合計	590,081	2,929,876	TON	590,081	2,929,876	TON	590,081	2,929,876	TON	590,081	2,929,876	590,081	2,929,876	590,081	2,929,876	81	101	
スフ綿	5,768	20,339	TON	5,768	20,339	TON	5,768	20,339	TON	5,768	20,339	5,768	20,339	5,768	20,339	72	74	
合繊綿	48,379	77,667	TON	48,379	77,667	TON	48,379	77,667	TON	48,379	77,667	48,379	77,667	48,379	77,667	94	98	
(ポリエステル)	25,457	35,414	TON	25,457	35,414	TON	25,457	35,414	TON	25,457	35,414	25,457	35,414	25,457	35,414	105	104	
(アクリル)	18,594	32,332	TON	18,594	32,332	TON	18,594	32,332	TON	18,594	32,332	18,594	32,332	18,594	32,332	71	82	
糸合計	97,023	399,938	TON	97,023	399,938	TON	97,023	399,938	TON	97,023	399,938	97,023	399,938	97,023	399,938	115	107	
人絹糸	2,534	10,269	TON	2,534	10,269	TON	2,534	10,269	TON	2,534	10,269	2,534	10,269	2,534	10,269	103	103	
スフ糸	224	1,130	TON	224	1,130	TON	224	1,130	TON	224	1,130	224	1,130	224	1,130	101	65	
合繊長繊維糸	72,910	265,713	TON	72,910	265,713	TON	72,910	265,713	TON	72,910	265,713	72,910	265,713	72,910	265,713	111	107	
(ナイロン)	31,585	128,745	TON	31,585	128,745	TON	31,585	128,745	TON	31,585	128,745	31,585	128,745	31,585	128,745	93	97	
(ポリエステル)	33,541	80,337	TON	33,541	80,337	TON	33,541	80,337	TON	33,541	80,337	33,541	80,337	33,541	80,337	128	128	
合繊短繊維糸	6,901	33,441	TON	6,901	33,441	TON	6,901	33,441	TON	6,901	33,441	6,901	33,441	6,901	33,441	159	135	
綿糸	12,046	62,943	TON	12,046	62,943	TON	12,046	62,943	TON	12,046	62,943	12,046	62,943	12,046	62,943	116	100	
織物合計	112,406	645,665	TON	112,406	645,665	TON	112,406	645,665	TON	112,406	645,665	112,406	645,665	112,406	645,665	107	96	
絹織物	103	4,574	TON	103	4,574	TON	103	4,574	TON	103	4,574	103	4,574	103	4,574	78	78	
人絹織物	1,479	12,490	TON	1,479	12,490	TON	1,479	12,490	TON	1,479	12,490	1,479	12,490	1,479	12,490	90	86	
スフ織物	22,319	56,828	TON	22,319	56,828	TON	22,319	56,828	TON	22,319	56,828	22,319	56,828	22,319	56,828	79	76	
合繊長繊維織物	25,970	146,343	TON	25,970	146,343	TON	25,970	146,343	TON	25,970	146,343	25,970	146,343	25,970	146,343	110	107	
(ナイロン)	3,828	29,708	TON	3,828	29,708	TON	3,828	29,708	TON	3,828	29,708	3,828	29,708	3,828	29,708	92	85	
(ポリエステル)	14,189	80,700	TON	14,189	80,700	TON	14,189	80,700	TON	14,189	80,700	14,189	80,700	14,189	80,700	116	113	
合繊短繊維織物	16,516	88,842	TON	16,516	88,842	TON	16,516	88,842	TON	16,516	88,842	16,516	88,842	16,516	88,842	139	116	
綿織物	43,116	286,971	TON	43,116	286,971	TON	43,116	286,971	TON	43,116	286,971	43,116	286,971	43,116	286,971	108	92	
毛織物	1,322	32,741	TON	1,322	32,741	TON	1,322	32,741	TON	1,322	32,741	1,322	32,741	1,322	32,741	86	78	
不織布	16,538	67,329	TON	16,538	67,329	TON	16,538	67,329	TON	16,538	67,329	16,538	67,329	16,538	67,329	118	116	
タイヤコード織物	21,155	77,858	TON	21,155	77,858	TON	21,155	77,858	TON	21,155	77,858	21,155	77,858	21,155	77,858	103	102	
コーテッド織物	27,689	44,365	TON	27,689	44,365	TON	27,689	44,365	TON	27,689	44,365	27,689	44,365	27,689	44,365	42	116	
ニット生地	47,784	357,194	TON	47,784	357,194	TON	47,784	357,194	TON	47,784	357,194	47,784	357,194	47,784	357,194	115	109	
ニット製衣料		67,217			67,217			67,217			67,217		67,217		67,217		145	
布帛製衣料		114,323			114,323			114,323			114,323		114,323		114,323		139	
その他		368,108			368,108			368,108			368,108		368,108		368,108		106	

出所:タイ通関統計

織物類の輸入は主要品目では、合繊長繊維織物、合繊短繊維織物の輸入は数量、金額共に増加したが、最大品目の綿織物の輸入が数量増の金額減となり、全体として数量で7%増の9万1,275トン、金額で4%減の4億6,626万ドルと数量増の金額減となった。一方、ニット生地は、数量で15%増の4万402トン、金額で9%増の2億8,565万ドルと数量、金額共に増加推移となっている。

また、衣料品の輸入は、ニット製衣料品が45%増の6,777万ドル、布帛製衣料品は39%増の1億1,116万ドルと、中国、EUからの輸入を中心に、額は未だ小さいが大幅な伸び率を記録している。



◎ 2006年8月の繊維品輸入、東アジア諸国主導で増加

2006年8月の米繊維品輸入は、中国を筆頭にインド、インドネシア、ベトナムなどの東アジア諸国の大幅増に支えられて5%増と、5カ月連続の増加となった。また、2006年1～8月の輸入は、いわゆるビッグ4（中国、韓国、台湾、香港）及びアセアン、更にパキスタン、インドなどの東アジア諸国が伸びている。

【8月の輸入】

米商務省が発表した2006年8月の米繊維品輸入は前年同月比4.6%増の49億7,100万平方メートル換算（SME）となり、4月以降5カ月連続の増加を記録した。

8月の輸入のうち、アパレルは、前々月の微増、前月の若干増から7.3%増と大きく伸びたが、ノン・アパレル（糸、織物、その他繊維製品）は2.4%増で過去2カ月の7%台の伸びから減速している。

地域別輸入では、中国が14.8%増、インドが17.6%増、インドネシアが20.4%増、ベトナムが15.4%増と、東アジア諸国が大幅な増加となり、8月の輸入の牽引役を果たしている。特に、中国は、前月の一桁増（7.5%増）から二桁増に上昇し、その輸入量は19億5,300万SMEで全体の39%と大きなシェアを占め、増勢を強めている。

【1～8月の輸入】

2006年1～8月の米繊維品輸入は前年同期比2.7%増の346億4,500万SMEとなり、このうちアパレルは2～5月の4カ月連続のマイナスが響いて0.3%の微減となったが、ノン・アパレルは5.1%増と堅調に推移している。1～8月の主要地域別輸入状況は、以下の通り。

○ 主要地域別輸入では、ビッグ4（中国、韓国、台湾、香港）及びアセアン、更に「その他地域」の中のパキスタン、インドなどの東アジア諸国が伸びたが、米近隣のNAFTA（北米自由貿易協定）パートナー（メキシコとカナダ）及びCBI（カリブ海沿岸諸国）は落込んでいる。

米国の繊維品輸入推移

単位：100万SME、%

	ノン・アパレル		アパレル		合計	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
2000年	16,829	16.0	16,035	13.7	32,864	14.9
2001年	16,708	▲0.7	16,103	0.4	32,812	▲0.2
2002年	21,033	25.9	17,256	7.2	38,288	16.7
2003年	23,363	11.1	18,864	9.3	42,227	10.3
2004年	26,985	15.5	19,951	5.8	46,936	11.2
2005年	28,829	6.8	22,010	10.3	50,839	8.3
1月	2,257	5.0	1,645	8.5	3,902	6.4
2月	2,206	17.3	1,760	2.2	3,965	19.4
3月	2,340	4.9	1,728	7.0	4,068	5.8
4月	2,341	1.5	1,549	11.7	3,890	4.4
5月	2,544	8.3	1,704	24.2	4,248	14.2
6月	2,488	▲1.4	2,065	19.5	4,553	7.1
7月	2,353	0.1	1,990	7.3	4,344	3.3
8月	2,593	8.2	2,159	13.3	4,752	10.4
9月	2,487	12.0	2,127	8.9	4,614	9.6
10月	2,565	13.8	1,916	6.3	4,481	9.3
11月	2,419	9.8	1,770	8.3	4,190	9.2
12月	2,237	5.7	1,594	5.9	3,831	5.8
2006年	20,092	5.1	14,552	▲0.3	34,645	2.7
1月	2,503	10.9	1,698	3.2	4,201	7.6
2月	2,151	▲2.5	1,587	▲9.8	3,738	▲5.7
3月	2,361	0.9	1,687	▲2.4	4,048	▲0.5
4月	2,515	7.5	1,493	▲3.6	4,008	3.1
5月	2,706	6.2	1,669	▲2.1	4,375	2.9
6月	2,682	7.9	2,071	0.3	4,753	4.4
7月	2,519	7.1	2,032	2.0	4,551	4.8
8月	2,654	2.4	2,316	7.3	4,971	4.6

注：前年比は増減、▲は減少。 出所：米商務省（DOC）

- ビッグ4からの輸入は6.3%増と堅調に推移している。ビッグ4の中では、主力の中国は米繊維輸入規制により前年同期の46.1%増から5.5%増へと大幅に鈍化しているが、それでも世界全体の34%を占め、米繊維輸入市場のトップサプライヤーとして他の供給国を凌駕している。中国からの輸入では、衣料品と織物が減少したのに対し、糸とその他繊維製品が増加している。

その他のビッグ4構成国では、韓国と台湾は織物を中心にそれぞれ12.1%増、12.0%増と二桁増となったが、香港は織物とその他繊維製品の不調で0.3%の微増にとどまっている。

- アセアンからの輸入は17.2%増と好調に推移している。主要構成国では、タイが織物とその他繊維製品の不振で1.3%減となったが、インドネシア(22.1%増)、フィリピン(13.6%増)、ベトナム(28.0%増)、カンボジア(25.5%増)は何れも衣料品を中心に大幅に伸び

ている。なお、アセアンからの輸入は衣料品が全体の73%を占めている。

- 一方、NAFTA パートナーからの輸入は低迷している。衣料品とその他繊維製品を中心とするメキシコは10.2%減、糸と織物主体のカナダは16.1%減となり、両国合わせて12.8%減となった。なお、供給国の順位としては、メキシコが第3位、カナダが第5位に位置している。

米国の繊維品輸入推移（主要地域・国別）

単位：100万SME、%

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年 1-8月	前年 同期比
全世界	32,812	38,288	42,227	46,936	50,839	34,645	2.7
NAFTA	7,558	7,722	7,238	7,373	6,892	4,077	▲12.8
メキシコ	4,290	4,335	3,926	4,101	3,883	2,367	▲10.2
カナダ	3,268	3,387	3,312	3,272	3,009	1,710	▲16.1
CBI	3,704	3,830	4,046	4,168	4,169	2,503	▲10.3
ホンジュラス	1,032	1,099	1,165	1,209	1,262	765	▲8.4
エルサルバドル	768	817	895	895	897	480	▲20.0
ドミニカ共和国	773	743	758	772	725	399	▲19.1
ビッグ4	5,911	9,348	12,633	16,128	20,595	14,389	6.3
中国	2,211	4,963	8,288	11,662	16,766	11,748	5.5
韓国	1,383	2,032	2,097	2,301	2,028	1,438	12.1
台湾	1,224	1,391	1,356	1,302	1,083	789	12.0
香港	1,092	962	892	862	721	415	0.3
アセアン	4,390	4,766	4,980	5,140	5,145	3,871	17.2
タイ	1,308	1,316	1,098	1,114	1,052	681	▲1.3
インドネシア	1,165	1,215	1,151	1,275	1,354	1,080	22.1
フィリピン	916	817	794	711	643	473	13.6
ベトナム	33	358	827	905	950	778	28.0
カンボジア	389	474	561	673	740	563	25.5
EU（15カ国）	1,868	2,055	2,059	2,063	1,912	1,205	▲8.9
イタリー	521	518	533	462	385	228	▲19.0
ドイツ	457	551	484	479	453	274	▲10.6
その他	9,381	10,567	11,272	12,064	12,126	8,600	6.4
パキスタン	2,189	2,537	2,690	2,970	3,291	2,490	15.5
インド	1,250	1,545	1,666	1,915	2,335	1,809	15.4
バングラデシュ	1,169	1,150	1,110	1,109	1,314	992	13.5
トルコ	871	1,068	1,026	982	844	492	▲16.0

- また、CBIからの輸入も10.3%減と不調である。主要国のホンジュラスは8.4%、エルサルバドルは20.9%、ドミニカ共和国は19.1%のそれぞれ減少となった。なお、CBIからの

輸入は、アパレルが 97%と殆どを占めている。

- EU（15 カ国）からの輸入は、主力のイタリアとドイツが共に織物の不振でそれぞれ 19.0%、10.6%の減少となり、全体で 8.9%減となった。
- 上記の主要地域に含まれない「その他地域」からの輸入では、供給国第 2 位のパキスタンが 15.5%増、同第 4 位のインドが 15.4%増、またバングラデシュが 13.5%増と大幅な増加となった。これらの東アジア諸国は、いずれも「ポスト・クォータ」の恩恵を享受して、衣料品とその他繊維製品を中心に対米輸出を活発に推進している。

◎ 2006 年 9 月の米大手小売店販売、引続き堅調

2006 年 9 月の米大手小売店の販売は、ガソリンの値下がりと涼しい天候を反映した秋物衣料品の好調な販売に支えられて 4%増と、引続き堅調に推移した。

米国の国際ショッピング・センター協会（ICSC）が纏めた「米チェーン・ストア販売動向レポート」によると、米大手小売店 57 社の 2006 年 9 月の売上高は前年同月比（既存店比、以下同じ）3.8%増となった。

米大手小売店の売上高の伸び率推移

単位：%

年 月	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
1	5.7	4.8	5.2	1.8	5.9	3.6	5.0
2	6.0	3.1	6.2	0.9	6.8	4.9	3.2
3	2.1	1.7	6.4	-0.2	6.8	4.1	1.9
4	7.9	3.8	1.6	3.1	3.7	2.2	6.6
5	5.0	1.5	3.4	2.0	5.4	2.9	4.5
6	3.7	2.8	5.1	2.4	2.6	5.2	2.6
7	4.4	3.4	2.6	4.2	3.8	3.6	3.9
8	4.2	3.6	1.6	4.9	1.3	3.6	2.9
9	4.3	0.9	1.5	5.8	2.4	4.0	3.8
10	3.8	2.3	3.1	2.4	4.1	4.4	
11	4.0	2.1	0.0	3.3	1.7	3.5	
12	0.7	2.2	1.0	4.3	2.7	3.2	
年間平均	4.0	2.6	3.1	2.9	3.8	3.9	

注：伸び率は前年同月比（既存店比）の増減を示す。

米小売アナリストは、「9 月の小売販売は、8 月中旬からのガソリンの値下がり傾向、秋らしい涼しい天候に加え、クローゼットの衣料品を最新にしたいとする消費者の購買意欲の高まりもあって、秋物衣料品の販売が進展し、特に百貨店および衣料品専門店チェーンが順調に推移した」と分析している。

また、ファッション・リサーチ会社のレポートによると、秋物ファッションでは、長袖トッ

プス、セーター、ドレス、レギンス、ストレート及びスキニー・ボトムズの需要が旺盛であった。

衣料品を中心に、9月のストア・タイプ別販売状況を見ると、以下の通り。

- 大手百貨店の9月の販売は8.4%増と順調に推移した。特に、高級百貨店は、好調な雇用情勢を背景にした専門家や管理部門の高給所得者を含む富裕層の旺盛な購買に支えられて、ノードストロムが13.4%増、サクスが10.0%増、ニーマン・マーカスが7.9%増と、何れも大幅に売上げを伸ばした。

このうち、ニーマン・マーカスは、「9月の販売は、地域では中西部とテキサス州、商品では女性用のコンテンポラリー・スポーツウェアが好調であった」と発表している。また、サクスは、「9月の販売では、女性用のブリッジ・ゾーン、ゴールド・レンジ、コンテンポラリーの各アパレル、イブニングドレス、アウターウェア、男性用のスポーツウェア、コンテンポラリー・アパレル、服飾品、子供用アパレル、インティメートアパレルがベスト・セール品目であった」と説明している。

中級百貨店では、ディラードが横ばい、ボン・トン・ストアーズが0.2%の微増にとどまったが、コールズは16.3%、J.C.ペニーは8.7%、フェデレーテッドは6.2%のそれぞれ増加となった。

このうち、J.C.ペニーは、「9月の販売では、アパレル及びアクセサリーの全ての品目が売上げを伸ばしたが、特に男性用と子供用アパレルが好調であった。また、地域でも、全ての地域で売上げが伸びたが、特に北東部と中央部がベストであった」と語っている。また、ボン・トン・ストアーズは全体では微増にとどまったが、同社首脳は「9月の販売は、レディースのベターとモダレート・ゾーンのアパレル、スペシャルサイズのスポーツウェアがベスト・セール品目であり、また女性・男性・子供用のアウターウェアも涼しい天候の好影響を受けた」と説明している。

- 大手衣料品専門店チェーンの9月の販売は、全体で4.6%増となった。衣料品専門店チェーンのうち、若者向け専門店では、ギャップが3.0%減、パシフィック・サンウェアが2.4%減となったが、アメリカン・イーグル・アウトフィッターズは19.0%増、リミテッド・ブランドは12.0%増、アバंकロンビー&フィッチは10.0%増、エアロポステールは8.5%増と大幅に伸びた。

このうち、アメリカン・イーグル・アウトフィッターズは、「9月の大幅な販売増は、主として、新しいインティメートアパレル・ライン及び秋物商品の定価販売の成功による」と語っている。

また、リミテッド・ブランドは、傘下小売店では、リミテッド・ストア（女性用衣料品店）は2%減、エクスプレス（男性・女性用衣料品店）は3%の若干増となったが、ビクトリアズ・シークレット（女性用下着店）が19%増、バス・アンド・ボディワークス（バス用品店）が6%増と大幅に伸び、全体の増加に貢献した。

一方、衣料品専門店チェーン最大手のギャップは8カ月連続のマイナスとなった。しかし、

同社首脳は「9月の販売では、客足は戻りつつあり、減少率も前月（7.0%減）を大幅に下回った。傘下ストアでは、オールドネイビー（低価格路線の衣料品店）が3%減、ギャップ・ストア（ティーンエイジャー向け主体の衣料品店）が5%減となったが、バナナリパブリック（高級志向の衣料品店）は3%の増加となった。バナナリパブリックでは、秋物衣料品への顧客の反応が良好で、特に、故オードリー・ヘップバーンをモデルにしたスキニー・ブラック・パンツのキャンペーンが好評であった」と説明している。

キャリアウーマン向け衣料品専門店チェーンの販売は順調に推移し、ドレス・バーンが13.0%、アン・テラー・ストアが5.8%のそれぞれ増加となった。

このうち、アン・テラー・ストアは、「9月の部門別販売では、アン・テラー・ロフト部門（手頃価格衣料品店）は1%の微増にとどまったが、アン・テラー部門（高級衣料品店）は10%増で14カ月連続の増加を記録した。売れ筋商品は、アン・テラー部門ではスーツ、パンツ、ドレス、アクセサリ、またアン・テラー・ロフト部門ではニット・トップス、プティート・アパレルなどであった」と発表している。

- 大手ディスカウント・ストアの9月の販売は、T J Xが9.0%増、ターゲットが6.7%増と順調に推移したが、ウォル・マートは1.3%の微増にとどまり、全体で2.6%の若干増となった。

このうち、小売店最大手のウォル・マートは、「9月の微増は、当店の顧客が引続き食料品と日用品を主体に購買し、衣料品の販売が予想を下回ったことなどによる」と語っている。

2006年9月の米主要小売店の販売状況

単位：100万ドル、%

小 売 店 名	売 上 高	
		前年同月比
<百 貨 店>		
ボン・トン・ストアーズ	329	0.2
ディラード	687	0.0
フェデレーテッド	2,303	6.2
J. C. ペニー	1,378	8.7
コールズ	1,251	16.3
ニーマン・マーカス	423	7.9
ノードストロム	732	13.4
サクス	343	10.0
<衣料品専門店チェーン>		
アバクロンビー&フィッチ	259	10.0
アメリカン・イーグル・アウトフィッターズ	233	19.0
アン・テラー・ストア	232	5.8
ドレス・バーン	142	13.0
エアロポステール	127	8.5
ギャップ	1,410	-3.0
リミテッド・ブランド	781	12.0
パシフィック・サンウェア	118	-2.4
<ディスカウント・ストア>		
ターゲット	4,885	6.7
T J X	1,700	9.0
ウォル・マート	23,927	1.3

組合関係の会議と催事

【2006年10月】

輸出入

I. 第20回日韓繊維産連年次合同会議に参加。

輸出

- I. 繊維団体名刺交換会打合せ会を開催。
- II. 平成18年度第2回「組合運営に関するタスクフォース」を開催。
- III. 繊維品輸出荷主連合会（TSA）が関西国際空港の見学会を実施。

輸入

- I. 第339回「理事会」を開催。
- II. 平成18年度第3回「組合運営に関するタスクフォース」を開催。

3日（火）

輸出（大阪）繊維団体新年名刺交換会打合せ会を綿業会館会議室で開催し、平成19年の名刺交換会の運営について検討した。

11日（水）

輸出（大阪）輸出組合が参画している繊維品輸出荷主連合会（TSA）が関西国際空港の見学会を実施。見学会参加者は19名。

輸入（大阪）関西地区OB会が開催された。

輸入（東京）アシュラフ・ウト・カター駐日バングラデシュ大使ほかが来所され、対日輸出促進について意見交換を行った。

12日（木）

輸入（東京）1. 第3回「組合運営に関するタスクフォース」（神谷議長）が開催され、①EPA交渉を巡る最近の状況②新繊維ビジョンの策定③資金運用規定④中国増値税輸出時還付率引下げに関する要望書の取扱い⑤商品別・機能別委員会組織見直しについて説明、審議が行われた。

2. 輸入組合「繊維貿易情報センター」開所式が行われた。

13日（金）

輸入（大阪）第83回「中国アジア専門委員会」（細田委員長）が開催され、①委員長並びに委員交替②タイ・カンボジア調査ミッション③北朝鮮に対する輸入禁止措置④中国の増値税輸出還付率引下げに関する当組合要望書について説明、審議が行われた後、情報交換が行われた。

17日（火）

輸出入（韓国）第20回日韓繊維産連年次合同会議が韓国・ソウルで開催され、輸出入組合代表として、輸出組合の中西常務理事（事務局）が出席した。

輸入（東京）第 339 回「理事会」（山本理事長）が開催され、① E P A 交渉を巡る最近の状況 ② 新繊維ビジョンの策定 ③ 商品別・機能別委員会委員選衡 ④ 中国増値税還付率引下げ問題 ⑤ 資金運用規定 ⑥ 繊維貿易情報センター設置 ⑦ 組合運営に関するタスクフォース検討課題 ⑧ 事務局長選任 ⑨ 中国アジア専門委員会海外調査ミッション派遣 ⑩ 業務報告（北朝鮮に対する輸入禁止措置/直近の輸入動向）についてそれぞれ説明と審議が行われた。

18 日（水）

輸入（東京）第 104 回「欧州・北米専門委員会」（細見委員長）が開催され、① 委員交替及び正副委員長互選 ② 「最近のアパレル消費動向」（講演） ③ 「JITAC EUROPEAN TEXTILE FAIR」への出展 ④ 最近の輸入動向 ⑤ 情報交換について説明、審議が行われた。

20 日（金）

輸入（滋賀）第 27 回「綿委員会」（砂山委員長）が開催され、① 委員交替の後、② 最近の輸入状況について意見交換が行われた。

26 日（木）

輸出（大阪）平成 18 年度第 2 回「組合運営に関するタスクフォース」が開催され、① 議長（三浦幸隆＝三井物産）の互選の後、② 平成 18 年度下期及び平成 19 年度における輸出振興事業計画について検討が行われた。

11 月のスケジュール（11 月 7 日現在）

1 日（水）	輸出	（大阪）	福岡市港湾局との会合
6 日（月）	輸入	（東京）	高橋公認会計士による上期会計監査
10 日（金）	輸出	（大阪）	平成 18 年度第 2 回保険・受渡委員会（書面審議）
14 日（火）	輸入	（名古屋）	貿易実務研修会（名古屋税関講演）
16 日（木）	輸入	（東京）	第 64 回貿易制度専門委員会
20 日（月）	輸入	（大阪）	中国アジア専門委員会タイ・カンボジアミッション打合せ会
21 日（木）	輸入	（大阪）	貿易実務研修会（大阪税関講演）
22 日（水）	輸入	（東京）	貿易実務研修会（東京税関講演）
26 日（日） ～12/2（土）	輸入		中国アジア専門委員会タイ・カンボジア調査ミッション派遣 （タイ・カンボジア）
30 日（木）	輸出	（大阪）	平成 18 年度第 3 回「組合運営に関するタスクフォース」



◎ 繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」(輸出組合)

以下に掲げる保険申込書の「保険責任期間」が、平成 18 年 12 月末日に終了しますので、延長を必要とするものがありましたら、必要書類を添付の上、組合に申請してください。保険責任期間が「6 ヶ月」延長されます。

- * 平成 18 年 6 月に新規提出された決済条件が、「前受け」のもの
- * 平成 17 年 12 月に新規提出された決済条件が、「前受け」以外のもの

(注) 当初の保険責任期間は「前受け」6 ヶ月、「前受け以外」12 ヶ月となっております。

1. 提出期限：平成 18 年 12 月 20 日 (水)
2. 提出書類：① 貿易一般保険包括保険(繊維品)
 保険期間延長依頼書 2 通
 (用紙は事務局で準備しています。)
 ② 延長を必要とする包括保険申込書のコピー .. 1 通
3. 提出先：総務部 (☎06-6201-1832)

なお、延長手続きの FAX による申込みも可能です。(FAX:06-6201-1814)
 保険期間終了の保険申込書番号は以下の通りです。

前受けに係る 2006 年 6 月度受付保険申込書番号

記号	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 6	102934~ 103583 ----- 505623~ 506930	101326~ 101824	100116~ 100151

前受け以外に係る 2005 年 12 月度受付保険申込書番号

記号	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 5	107671~ 108173 ----- 510121~ 510997	103481~ 103872	100338~ 00359

◎ 引受方針変更及び国別引受条件の緩和 (輸出組合)

独立行政法人日本貿易保険（NEXI）から、“この度、OECD・CRE 会合の結果を踏まえ、バーレーン、モロッコ、リビアの3カ国の国カテゴリー及び引き受け方針を変更すると共に前回の引受方針見直しに引き続き、現在、引受を行っていない国等を中心に、9カ国の貿易保険の引き受け方針見直しを実施する”旨連絡がありましたので通知します。

この結果、以下の取扱いとなります。

1. 国カテゴリーの変更（通常国2カ国）

〈国コード〉	〈国名〉	〈国倍率〉
135	バハレーン	2.0倍（旧3.0倍）
501	モロッコ	3.0倍（旧3.8倍）

2. 引受条件の緩和（条件付引受国）

〈国コード〉	〈国名〉	〈国倍率〉	〈引受限度額〉	〈ILC取得条件〉
505	リビア	6.0倍（8.0倍）	20億円（旧5億円）	無し（旧有り）

3. 条件付停止国から条件付引受国に緩和（8カ国）

〈国コード〉	〈国名〉	〈国倍率〉	〈引受限度額〉	〈ILC取得条件〉
243	ボスニア・ヘルツェゴビナ	8.0倍（据置）	5億円	有り
240	モルドバ	8.0倍（据置）	5億円	有り
310	ニカラグア	8.0倍（据置）	5億円	有り
307	ホンジュラス	8.0倍（据置）	5億円	有り
538	エチオピア	8.0倍（据置）	5億円	有り
511	ガンビア	8.0倍（据置）	5億円	有り
518	トーゴ	8.0倍（据置）	5億円	有り
546	マダガスカル	8.0倍（据置）	5億円	有り

4. 停止国から条件付停止国に緩和

〈国コード〉	〈国名〉	〈国倍率〉
515	リベリア	8.0倍（据置）

* 国倍率（地域差料率）とは、非常危険てん補に係る保険料計算に適用される基本料率に対して掛けられる倍率です。

なお、ユーザンスが6ヶ月を超えるものは、ベルン・ユニオンのルールに基づき、従来どおり引受けられません。

5. 実施日：平成18年10月30日

お知らせ

◎ 北朝鮮に係る包括保険の対応措置（輸出組合）

このたび独立行政法人日本貿易保険（NEXI）から、“「外国為替及び外国貿易法に基づく北朝鮮に係る対応措置について」に基づく、原産地又は船積地域が北朝鮮であって第三国へ輸出する貨物の売買に関する取引（外為法25条第4項）の禁止措置を踏まえ、以下の取扱とする”旨連絡がありましたので、通知します。

この結果、以下の取扱いとなります。

<取扱概要>

貿易一般保険包括保険（消費財）

上記措置により禁止される取引を含む輸出契約等については保険契約の申込みを要しない。仮に申込みがなされた場合においてもてん補する責めに任じない。

<具体的な対応について>

本来、引受基準の改正を必要とするところですが、便宜的に本取扱をもって変えるものとする。

取扱施行日：平成18年10月14日

取扱期間：平成18年10月14日から平成19年4月13日まで

<対象となる引受基準>

北朝鮮（104）：条件付引受停止国

国倍率 8.0 倍

お知らせ

◎ イラン・SADERAT 銀行に関する貿易保険の諸手続き
(輸出組合)

このたび独立行政法人日本貿易保険から、“イラン・SADERAT 銀行に関する諸手続きのお知らせ”について連絡がありましたので、下記資料にてお知らせ致します。

- SADERAT 銀行手続き通知書
- SADERAT 簡易内変申請書

被保険者各位

**米国のSaderat銀行との米ドル建て取引停止に係る
諸手続きのお知らせ**

2006年10月12日
日本貿易保険

拝啓

平素は、貿易保険業務に関し、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、9月28日付「米国のSaderat銀行との米ドル建て取引停止による貿易保険付保案件についてのお願い」に関連しまして、Saderat銀行発行の米ドル建てL/Cを他通貨建てL/Cに変更した場合に必要な手続き、及び損失発生に伴う必要な手続き並びに各々の留意点について整理いたしましたので、下記のとおりご連絡申し上げます。

記

1. Saderat銀行発行の米ドル建てL/Cを他通貨建てL/Cに変更した場合の手続き

(1) 保険契約の内容変更手続きが不要なもの

L/Cを変更しても、変更後の通貨で決済金額が確定していない場合(*)には、仮に輸出契約書等が変更されていたとしても、「重大な内容変更」には該当せず、手続きは不要です。

(*) 以下のようなケースが該当します。

- ◆ 他通貨オプションがついている米ドル建て L/C
- ◆ 円(又はユーロ)建て L/C であるが、L/C 金額が“〇米ドル相当の円(又はユーロ)”と定義されているもの。
- ◆ 円(又はユーロ)建て L/C で L/C 金額も当該通貨で固定されているが、輸出契約の当事者間で、為替差損益について別途精算する取り決めとなっているもの。 等

(2) 保険契約の内容変更手続きが必要なもの

L/C を変更し、変更後の通貨で決済金額が確定している場合には、輸出契約書を変更していなくとも、貿易一般保険約款第 2 2 条の「重大な内容変更」に該当し、所定の手続きが必要です。

※ 保険契約の内容変更手続きについては、別紙様式の申請書を用いて、約款第 2 2 条に基づき日本貿易保険に通知してください。一度に複数の保険契約について通知することも可能です。

通知のあったものについては同申請書の受理をもって内容変更承認に代えるものとし、内容変更手続は完了します。変更後の保険証券は、後日、損失発生通知書が提出された場合のみ、その時点で再送付いたします。

(エビデンスレスでお申し込み頂いた案件についても、別紙様式の申請書を用いて通知して頂くことにより、内容変更データ等の送付は必要ございません。)

なお、当該内容変更の取扱いにおいては原則として保険価額の変更は行いません(従って、保険料の追徴も返還も発生いたしません。)。決済通貨の変更に伴う保険価額の増・減額を特にご希望される場合には、別途、営業第一部 業務管理グループ又は大阪支店 お客様相談室に変更後速やかに、個別にご相談ください。

2. 損失発生以後に必要な手続きと留意点

(1) 事故認定について

① 事故対象

イ) 既に船積みを完了したが、銀行での取り扱い(買取・取立)を拒否され、その後、損失防止のために講じた策(L/C についての変更の依頼交渉等)がいずれも成功せず未決済となっている案件。

ロ) 買取(Nego)済みの、他通貨決済オプション付きではないL/C について、他通貨決済への変更が出来ず、その後損失防止のために講じた策(L/C のアmend依頼交渉等)がいずれも成功せず未決済となっている案件。

ハ) 上述イ)及びロ)以外で、損失の発生防止に努めたが、決済予定日に決済されなかった案件。

ニ) その他、船前事故(NEXIに必要な対応を事前にご確認ください)。

② 事故事由 : 約款 4 条一号

③ 事故発生日及び確定日

i) ①のイ) の場合 : 契約当初のL/C決済予定日

※ at sight 決済条件については、NEXIの運用規程で定める船積日から30日で決済予定日を算出してください。

ii) ①のロ) 及びハ) の場合 : 決済予定日

iii) 船前事故については、個別にNEXIに対応をご確認ください。

(2) 損失発生通知・保険金請求の手続について

①損失発生通知

貿易一般保険各手続細則に定める損失発生通知書を上述事故確定日から45日以内に提出ください。なお、その際に、上述1.(2)の手続対象となる案件に関しては、併せて、変更後のL/Cの写しを、必ず提出してください。

②保険金請求

損失発生通知書の提出以降、事故確定日から9ヶ月以内に、次の書類を提出してください。

i) 保険金を請求するに至るまでの経緯を記載した書類

ii) 損失計算書の基礎となる証拠書類の写し

- ・ L/C及び荷為替手形の写し (変更がある場合には変更前後ともに提出ください)
- ・ 輸出契約書等の写し (変更がある場合には変更前後ともに提出ください)
- ・ 船積を証する書類 (INVOICE、B/L等) の写し
- ・ 未決済額が確認できる書類 (銀行の未決済証明等)
- ・ 入金を確認できる書類 (一部入金がある場合のみ: 銀行による証明等) 及びNEXIに提出した入金通知書の写し
- ・ 保険証券の写し (300万円以下の案件は不要)
- ・ 内容変更承認書の写し (内容変更がある場合のみ)
- ・ 他に同種の危険をてん補する保険契約がある場合は、当該保険の請求状況等を証する書類
- ・ 輸出承認・許可書又は支払等許可書の写し (輸出承認・許可又は支払等許可を要する場合のみ)
- ・ 質権者の委任状又は同意書 (質権が設定されている場合のみ)

iii) 事故を証する書類 (下記(3)の留意事項ご参考)

iv) 損失防止軽減義務を履行していることを証する書類の写し

v) 今後の回収見込みを記した書類及びそれを裏付ける書類の写し

vi) その他参考となる書類

(3) 留意事項

①事故を証する書類には、特に次の書類を提出してください。

- ・ L/C買取不能関連書類（買取銀行との交渉履歴の説明等）
- ・ L/Cの変更不能関連書類（バイヤー・L/C発行銀行との交渉履歴の説明等）

②可能な限り、バイヤーから現地での支払を確認する書類等を入手してください。

※ なお、手続細則中の非常危険事故の必要書類中の「ローカルデポジット証明」は不要です。

なお、ご不明な点がございましたら以下にお問い合わせください。

連絡先：日本貿易保険 債権業務部 査定回収G 03-3512-7663 (FAX 03-3512-7676)
営業第一部 引受第2G 03-3512-7668 (FAX 03-3512-7679)
営業第一部 業務管理G 03-3512-7664 (FAX 03-3512-7679)
大阪支店 お客様相談室 06-6233-4017 (FAX 06-6233-4001)

敬具

イランSaderat銀行発行LCに関わる貿易一般保険変更承認申請書

年 月 日

独立行政法人日本貿易保険 御中

申込人
住所
氏名 印

2006年10月12日付け日本貿易保険の通知に基づき、以下のとおり、保険契約の変更承認を申請します。なお、申請書に記載した保険契約については、次のとおり取り扱うことを了承いたします。

1. 本申請をもって、貿易一般保険約款（以下「約款」という。）第22条第1項に規定する通知とする。
2. 本申請書の受理をもって、約款第22条第2項に規定する承認とする。
3. 本申請書に記載した保険契約のうち、約款第17条に規定する損失発生通知又は危険発生通知を行うこととなったものについては、次のとおり取り扱う。
 - (1) 変更後の通貨種が邦貨である場合の変更承認後の保険価額は、変更承認前の保険価額と同額とする。
 - (2) 変更後の通貨種が外貨である場合の保険価額の邦貨への換算については、変更承認前の保険価額を保険対象額（変更後の通貨種により表示された金額）で除して得た率（小数点第5位以下を切り捨て）を換算率とする。（約款第36条第8項）

保険証券番号	変更後LC	
	変更後通貨種	変更後通貨種により表示された金額
その他連絡欄：		

* 本申請書使用上の注意：

保険価額の増/減額変更を特に希望の保険契約については、本申請書を用いず、営業第一部 業務管理グループ又は大阪支店 お客様相談室に別途ご相談ください。

お知らせ

－ 2006 年 12 月の輸入通関手続相談窓口開設日 －

2006 年 12 月の輸入通関手続相談窓口は下記要領により開設します。
申告手続、品目分類、関税評価、暫 8 手続等々通関業務諸問題
についてご相談の向きはご連絡下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日 2006 年 12 月 6 日（水）及び 12 月 20 日（水）
2. 場 所 日本繊維輸入組合 東京本部
3. 時 間 午後 1 時より午後 5 時まで
4. アドバイザー 片山 喬次
(元東京税関関税評価部門特別価格審査官)
5. 連絡先

Tel 番号 03 (3270) 0791

Fax 番号 03 (3243) 1088

E - Mail 0023@j t i a . o r . j p (片山)

なお、事前の面談申込みや相談窓口開設日以外のお問合わせ、
ご質問につきましては、事務局がお取次ぎ致しますので、本件
事務局担当：国信までご連絡下さい。

以 上